

I 蒲郡市の概要

1 概要

蒲郡市は、愛知県の東南部、名古屋から岡崎を経て約 50km に位置する。東は五井山・北は遠望峰山・西は三ヶ根山と三方を標高 320～450m の起伏に富んだ山地に囲まれ、山裾に広がる扇状系の平坦地は南で三河湾に面している。気候は温暖であり三河湾国定公園、三谷・形原・西浦の温泉地など豊富な観光資源に恵まれている。

昭和 29 年の市制施行時の人口は約 48,500 人であったが、1 村 2 町を編入し、平成 30 年 4 月 1 日現在の人口は 80,379 人、世帯数 32,081 世帯、65 歳以上人口 23,268 人、高齢化率 28.9% である。平成 29 年の出生数は 513 人である（蒲郡の統計より抜粋）。

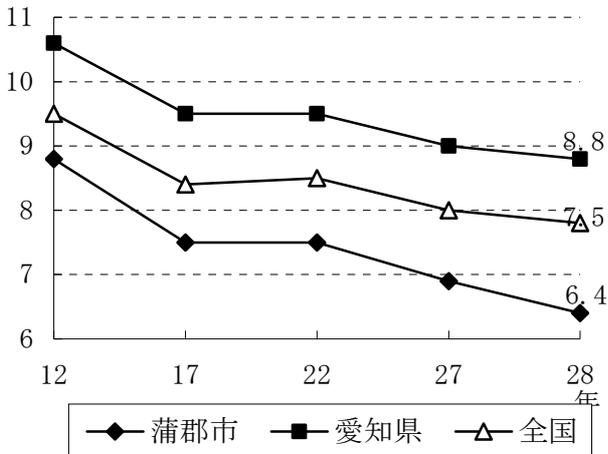
三河綿織物、ロープなど繊維工業が古くから行われている他、農業はみかん栽培が盛んである。蒲郡港では自動車・木材などの輸出入も行われている。



| | |
|----|-----------------|
| 北緯 | 34 度 49 分 23 秒 |
| 東経 | 137 度 13 分 22 秒 |
| 東西 | 12.44km |
| 南北 | 11.64km |

2 保健統計

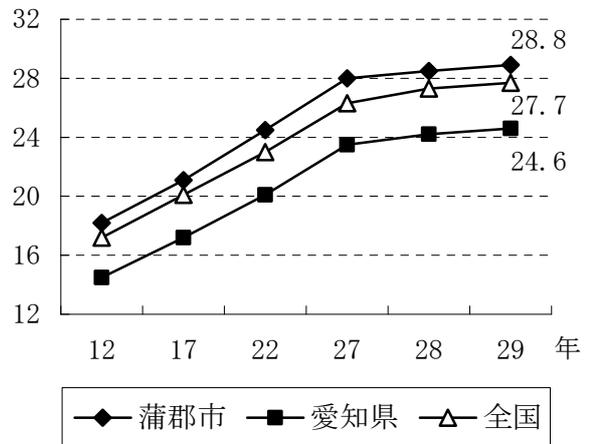
(1) 出生率 (人口千対)



蒲郡市の出生率は減少しており、
県・全国より低い値で推移している。
(平成 29 年度の値は秋以降発表)

※(1)(2)人口動態調査(厚生労働省)、総務省統計局人口推計、あいちの人口、がまごおりの統計より抜粋

(2) 高齢化率 (%) H29年10月1日現在



蒲郡市の高齢化率は上昇しており、
県・全国より高い値で推移している。

(3) 低出生体重児の出生数 (人 (%))

| | 出生数 | 低出生 体重児数 | 内訳 (人 (%)) | | |
|-----|-----|-------------|------------|-----------|-----------|
| | | | 1,500g未満 | 1,500g~ | 2,000g~ |
| H26 | 570 | 58 (10.2) | 7 (12.1) | 2 (3.4) | 49 (84.5) |
| H27 | 563 | 66 (11.7) | 7 (10.6) | 14 (21.2) | 45 (68.2) |
| H28 | 518 | 58 (11.2) | 8 (13.8) | 10 (17.2) | 40 (69.0) |

平成 28 年は、前年と比較して
出生数は減少しており、低出生体
重児数も減少している。1,500g
未満の出生の比率が高くなって
いる。

(4) 死因別死亡率 (人口 10 万対)

| | 総数 (人) | 悪性 新生物 | 心 疾患 | 脳血管 疾患 | 肺炎 | 老衰 | 不慮の 事故 | 自殺 | 腎 不全 | 肝 疾患 | 糖尿 病 | その他 |
|--------|-----------|-----------|---------|-----------|-------|-------|-----------|------|---------|---------|---------|-------|
| H25蒲郡市 | 884 | 320.2 | 139.7 | 91.5 | 100.2 | 56.9 | 29.7 | 22.3 | 27.2 | 11.1 | 16.1 | 244.8 |
| H26蒲郡市 | 822 | 286.4 | 131.4 | 84.3 | 85.5 | 53.3 | 44.6 | 17.4 | 17.4 | 8.7 | 16.1 | 245.5 |
| H27蒲郡市 | 847 | 272.5 | 130.7 | 92.4 | 99.9 | 67.8 | 39.5 | 16.0 | 25.9 | 14.8 | 10.6 | 273.7 |
| H28全国 | 1,307,748 | 298.3 | 158.4 | 87.4 | 95.4 | 74.2 | 30.6 | 16.8 | 19.7 | 12.6 | 10.8 | — |
| H28愛知県 | 65,227 | 254.2 | 110.4 | 64.6 | 70.9 | 70.0 | 25.8 | 14.1 | 14.5 | 9.9 | 7.5 | 198.8 |
| H28蒲郡市 | 900 | 301.3 | 141.4 | 74.4 | 98.0 | 116.6 | 27.3 | 21.1 | 21.1 | 22.3 | 16.1 | 241.8 |

平成 28 年の死因別死亡順位は、蒲郡市・愛知県・全国とも、1 位悪性新生物、2 位心疾患であった。本市(平成 28 年度)では悪性新生物・肺炎・老衰・腎不全・肝疾患が全国・県と比較して死亡率が高く、特に、老衰の死亡率は高齢化が進んでいることから顕著である。糖尿病の予防に努めることで、腎不全の死亡率の減少を図っていく。

※(3)(4)豊川保健所事業概要、総務省統計局より抜粋